

プロジェクト基礎・応用実践演習

地域文化の保存・継承に向けた  
文化資源マネジメント実践  
—愛媛県内子町小田地区・東予地方を事例に—

# 研究の背景と目的

## 【研究の背景】

文化に関わってきた対象者の高齢化が進み、地域文化を記録・収集することが急務となっている

事例1：内子町小田地区  
(旧森林鉄道)

地域の歴史文化や関連する  
遺構の喪失・記憶の断絶

事例2：愛媛県東予地方

生活の変化にともない文化の  
本質的価値を見失いつつある

文化資源の担い手の減少

## 【研究目的】

- ✓ 多世代で連携し、歴史文化を記録・収集・復元
- ✓ 調査成果を活かし、地域の実情に合わせた多様な実践

# 事例 1

## 内子町小田地区小田深山 高知営林局2級森林鉄道 (旧森林鉄道)

- ・大正12年～昭和27年：木材運搬
- ・沿線には林業関連施設や商店街など

営林署・関連施設は撤退し  
現在は廃集落



課題：遺構などは現存せず元従業員の高齢化が進行する  
中で**歴史・記憶をどのように復元・継承するか**

調査の視角 1  
軌道全体を復元

調査の視角 2  
林業関連施設・集落を復元

# 【調査1】軌道全体を復元



## 官舎街の復元(温水)

## 教員住宅街の復元(六郎)

## 軌道跡の発見

## 林業の拠点(淵首)

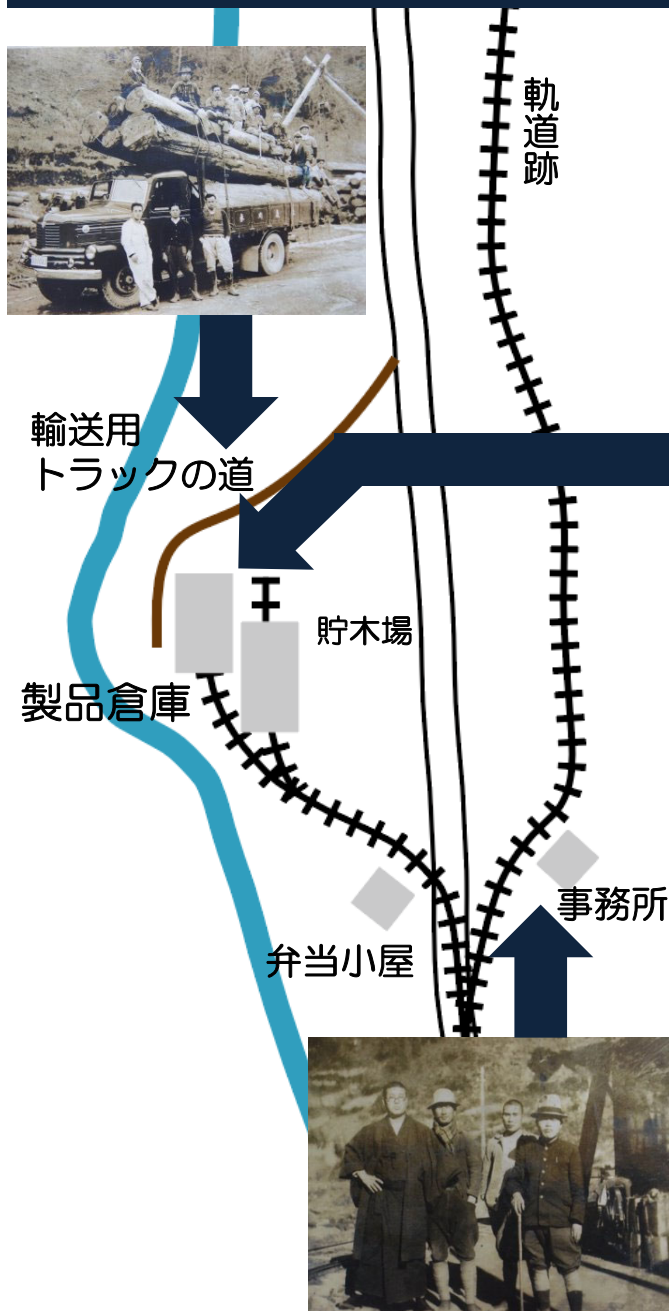
## 荷物の積み替え場(獅子越峠)



(国土地理院地図2万5千分の1地形図「伊予小田」(2007年測量)聞き取り・現地調査より作成)

# 【調査2】 林業関連施設・集落を復元

## 宮原土場は木材の集積地



▲旧森林鉄道古写真



▲現在



複数の古写真の比較と元林業従事者への聞き取り調査から林業関連施設や軌道跡を復元

# 木々と歩く小田深山の道 旧森林鉄道 獅子越峠～淵首



- ▲スギ ▲ヒノキ ▲シバグリ ▲もみじ
- 旧森林鉄道軌道 (推定)
- 石垣
- ..... 林道 (立入禁止)
- 現存する建物
- 現存しない建物

## 木を運ぶ機関車



昭和初期の小田深山には、米国のリリコン・アイアン・ワークス社製の機関車が走っていました。機関車は、旧森林鉄道の本線のうち、淵首から獅子越峠までの高低差約170m、距離約6kmの道のりを1日3往復し、天然の太木や100俵の炭を載せたトロッコを牽引していました。3名の運転手が交代しながら運行していました。

## 2 住宅地があった温水

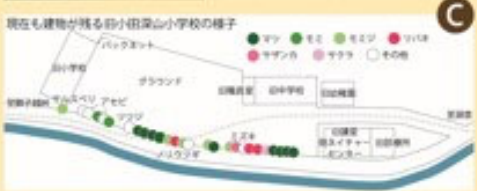


温水には、大正から昭和にかけて、山の斜面に造られた石垣の上に宮林業の平屋建て官舎が並ぶ住宅地がありました。高知県や小田の豊川などから林業関係者とその家族が移住し、最盛期には20軒程度の家がありました。

## 5 子供達の学び舎 旧小田深山小学校



旧小田深山小学校は小田深山唯一の小学校です。昭和8(1933)年築の校舎の敷地内には幼稚園や中学校、診療所がありました。最盛期には71人の児童が通いましたが、平成14(2002)年に閉校しました。かつての講堂は、現在ネイチャーセンターとして小田深山の自然活動の拠点となっています。



**くらがり峠**  
鉄道運行以前はこの峠を越えて牛馬が木を引き、申川まで搬出しました。

**蔵ヶ谷の落の元**

1 **あまご亭** **ハナツキ** **暗対橋** **ワサビ畑跡** **補ノ又林道** **鳳川**

**切通し**  
機関車を通すため岩を削ったと思われる跡が見られます。

2 **温水**

**小学校のプール跡**  
若て鳳川の水をせき止めてプールが作られました。

**木地師とトクサ**  
小田深山には、江戸後期から多くの木地師が住んでいたとされます。木地師が木を磨くために使っていたのがトクサ(蘆草)です。トクサはガラス質でやすりのような表面をしており、木を磨くことができます。トクサが生えている場所は木地師ゆかりの地だといわれています。



**アメノウオ**  
鳳川に生息するアメノウオ(アマゴ)は、雨が降ると活動が活発化し、よく釣れる魚です。小田深山では、アメノウオの土手焼が郷土料理としてよく食べられていました。鳳川沿いの旧小田深山小学校の宿舍に住んでいた先生は、鳳川で釣り上げたアメノウオを夕食に食べていたそうです。



**石垣**  
旧森林鉄道運行時の石垣であると推測されます。



**マユミの群生**  
薄紅の実がなるマユミが秋の小田深山を彩ります。

**小田深山人工造林発祥の森**  
小田深山の植林は明治21(1888)年にこの付近から始まりました。



**バスの車庫跡**  
廃線後に道路ができ、宮林業で働く人々を淵首へ送るバスが走りました。

3 **総山祇神社**

4 **鬼ヶ白**

**旧小田深山小学校**  
**プール跡**

## 1 木地師の里 ハナツキ



江戸時代から小田深山には木工品を製造する木地師が住み、ハナツキにも木地師の集落がありました。「七供養 花月(ハナツキ)」の東側には、墓地が残ります。七供養とは、山の神の怒りを鎮めるための供養です。

## 3 山の守り神 総山祇神社・鬼ヶ白観音



総山祇神社は、古くから山仕事の安全を祈願するための神社として林業関係者に信仰されており、信仰の範囲は高知県にまで広がります。総山祇神社の鳥居をくぐり、右手側にある鬼ヶ白観音は、平成12(2000)年に移築されたものです。

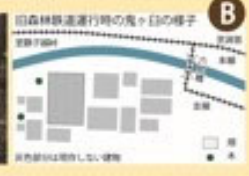
## トロッコでの木材の運搬



旧森林鉄道では機関車以外に牛や馬でトロッコを引いて木材を搬出していました。温水で撮影された古写真からも当時の様子が伺えます。また、牛馬が歩きやすいように枕木を地中に埋めている所がありました。

## 4 支線と本線を繋ぐ林業の拠点 鬼ヶ白

鬼ヶ白は妙見山などから伐り出した木を集積する重要な拠点でした。大正7(1918)年頃には造林から木材生産・流通を行う新伐事業所が設置されました。現在の六郎橋付近には林業従事者の住宅がありました。



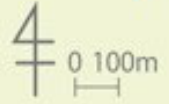
**モミジとケヤキの合体木**



**シオジの巨木**



**七供養 地蔵跡**  
3本のスギの根元に石と祠があります。



# 木々と歩く小田深山の道 旧森林鉄道 宮原～獅子越峠

**1 木の集積所 旧宮原土場**

木の集積所は、旧森林鉄道沿線の各駅に設置され、木材を積み重ねる場所でした。ここでは、かつての繁栄をしのびながら、現在は自然の再生が進んでいます。

**2 トロッコの難所 ゾンナツ岩**

ゾンナツ岩は、トロッコが通るのに必要な大きな岩で、かつては大きな工事が行われていました。現在は、この岩を利用して観光資源として活用されています。

**3 トロ乗りとカワラの木**

トロ乗りは、かつての森林鉄道で使われていた乗り物で、現在は観光用に復活しています。カワラの木は、この地域のシンボルであり、美しい風景を演出しています。

**4 荷物の積み替え場 獅子越峠**

獅子越峠は、旧森林鉄道の重要なポイントで、荷物の積み替えが行われていました。ここでは、かつての労働者の姿をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

# 木々と歩く小田深山の道 旧森林鉄道 獅子越峠～淵首

**1 木地師の里 ハナツキ**

木地師の里は、かつての森林鉄道で活躍した木地師たちの里として知られています。ここでは、伝統的な木工技術を体験できます。

**2 住宅地があった温床**

温床は、かつての森林鉄道で使われていた住宅地として知られています。ここでは、かつての生活の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**3 山の守り神 総山紙神社・鬼ヶ白根音**

総山紙神社は、山の守り神として知られています。鬼ヶ白根音は、かつての森林鉄道で活躍した人々の慰霊碑として知られています。

**4 支線と本線と繋ぐ林業の拠点 鬼ヶ白**

鬼ヶ白は、支線と本線と繋ぐ林業の拠点として知られています。ここでは、かつての林業の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**5 子供達の学び舎 旧小田深山小学校**

旧小田深山小学校は、かつての森林鉄道で活躍した子供達の学び舎として知られています。ここでは、かつての学校の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

# 木々と歩く小田深山の道 旧森林鉄道 淵首～小田深山溪谷

**1 官舎が立ち並ぶ小橋小屋**

小橋小屋は、かつての森林鉄道で活躍した官舎が立ち並ぶ場所として知られています。ここでは、かつての生活の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**2 林業の拠点 淵首**

淵首は、林業の拠点として知られています。ここでは、かつての林業の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**3 安芸貞直**

安芸貞直は、かつての森林鉄道で活躍した人物として知られています。ここでは、かつての生活の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**4 五色河原と主の水**

五色河原は、かつての森林鉄道で活躍した場所として知られています。主の水は、かつての森林鉄道で活躍した人々の慰霊碑として知られています。

**5 組り岩**

組り岩は、かつての森林鉄道で活躍した場所として知られています。ここでは、かつての生活の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**6 櫻のぼしとヒキ**

櫻のぼしとヒキは、かつての森林鉄道で活躍した場所として知られています。ここでは、かつての生活の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

**7 藤見河原**

藤見河原は、かつての森林鉄道で活躍した場所として知られています。ここでは、かつての生活の様子をしのびながら、現在は自然の美しさを堪能できます。

# マップ「木々と歩く」

## 復元調査

調査1  
軌道全体を復元



調査2  
林業関連施設・集落を復元



## 文化資源マネジメント実践

実践1  
記憶のアナログアーカイブ



実践2  
次世代の担い手づくり



# 【実践1】 記憶のアナログアーカイブ

マップ「木々と歩く」の作成  
紙媒体(MAP)でアーカイブを公開  
全ての世代がアクセスして、様々な  
情報・新しい発見を更新できる仕組み



旧鉄道跡の記憶の継承

地域住民がつくる地域史



## マップを契機に地域内で新たな動き

### 地域内での成果発表会

鬼ヶ臼

●山仕事の信仰 総山祇神社・鬼ヶ臼観音



総山祇神社



現在の鬼ヶ臼観音

- ・総山祇神社は古くから山仕事の安全を祈願するために信仰
- ・明治37年に鬼ヶ臼観音は中川の宝蔵寺に移築されたとされる  
鬼ヶ臼観音は高知からも信仰され、信仰圏が広い
- ・5月20日と9月20日に山仕事の安全を願う祈願祭が行われた



### 住民による地域誌刊行



### レールの発見



# 【実践2】次世代の担い手づくり

## 小中学生へのふるさと学習

調査を活かして、小田地区の文化的景観を伝える「ふるさとカルタ」を作成  
小田小・中の全校生徒を対象に実施



読み札【文化の魅力】  
を読む



取り札【文化的資源】  
を取る



取り札で  
小田の地図を作成

旧鉄道跡の記憶の継承

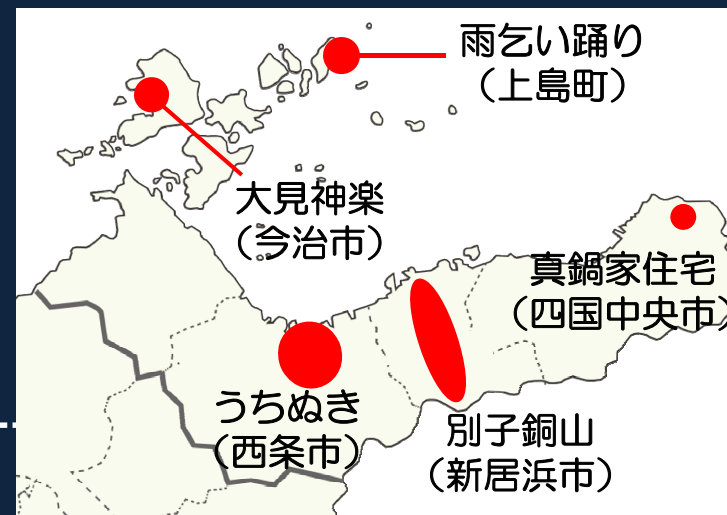
地域住民がつくる地域史

多世代が連携して文化を収集・記録＝その過程が次の担い手を育てる

# 事例2

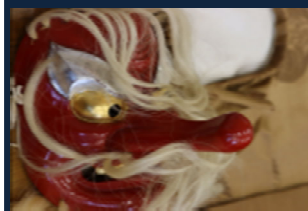
## 東予地方5市町

課題：生活の変化にともない、身近な文化の本質的価値が見失われつつある

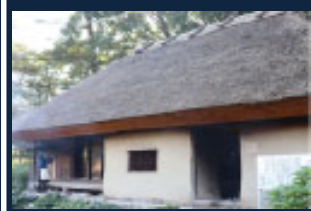


東予5市町が対象とした文化資源

大見神楽



真鍋家住宅



うちぬき



別子銅山



雨乞い踊り



実践1

各地で地域文化資源の再評価

実践2

5地域の同時進行



実践3

各地の成果の共有

# 【実践1】各地で地域文化資源の再評価

## 事例：弓削島

### 雨乞い踊り 降雨を祈る神事



井戸や上水道整備とともにその重要性が低下し、担い手が減少

「雨乞い踊り」を島の自然環境  
や集落の歴史、信仰と関連づけ、  
島全体の文化として再評価



えひめ瀬戸内 LINK プロジェクト

### 弓削島における雨乞い踊りを通じた地域と「水」の関係性

愛媛大学井戸研究室 井戸幹(教員)・作道真子・池野純輝・岡本悠輝・小黒結梨・立田直  
(Special thanks 愛媛県立弓削高等学校、東予歴史文化資源活用推進協議会・東予地方創成政策課)

#### 雨乞い踊りと水に関する概要

弓削島は地形・気候の影響により、昔から水不足に悩まされていた。雨乞い踊りは室町時代が起源(諸説あり)とされている。現代に至るまでに2度途絶えた歴史があるが、1971年、2018年に復活を遂げた。雨乞い踊りは1981年に「上島町指定重要無形文化財」となり、水不足が解消された現在も、弓削島の小・中学生によって受け継がれている。

今回、雨乞い踊りの歴史や文化を調査・分析することで、弓削島の人々と水の関係性を明らかにする。概要を捉えた調査のポイントは次の5つである。

#### 要点

- point1. 雨の少ない瀬戸内の島
- point2. 弓削島の雨乞い
- point3. 雨乞いの行列と踊り場
- point4. 現在の雨乞いの担い手
- point5. 井戸と友愛の水



#### 弓削島の雨乞い

雨乞いとは…  
雨乞を神山に祈る行為で、古くから国家儀礼として行われた。雨乞いを中心に、山頂で火を焚く、歌や踊りを奉納。神様を怒らせる、神社に籠もり祈禱、聖地に水をもらう5つの型に分類される。

#### 弓削島の雨乞い踊り

雨乞い踊りは室町時代に伝わった念仏踊りが起源とされ(諸説あり)、その歌・江戸・明治時代に全盛期を迎えたが、戦後途絶えた。しかし、1971年に保存会発足、踊りの復活を遂げ、再び途絶えたものの2018年に再度復活した。



#### point 2

下馬前地区における雨乞い踊りを奉納するルート(予定)  
● 井戸が多く見られる場所

#### 雨乞いの行列と踊り場

##### 人々が練り歩く雨乞い行列

弓削島の雨乞い踊りは各神社や寺院などの踊り場にて奉納された。その移動時の太鼓や鉦の音色、住民が次々と集まり長い雨乞い行列を形成し、島を練り歩く様子は、地域が一体となって降雨を祈る空間を形成している。

#### point 3

当地区は踊り場にて奉納されており、神社・寺院にはこのような踊り場の空間が境内に存在する。

#### 雨乞いにおける各地区の重要な神社



#### 雨の少ない瀬戸内の島

雨が少なく、土地の貯水能力の低さによる水不足に悩まされる弓削島の人々にとって雨乞い踊りは、この問題を解決する重要な儀礼であり、今も大切に継承されている。その背景には、人々の水への強い思いがある。

#### point 1



#### 井戸と友愛の水

集落景観を象徴する井戸  
水不足 弓削島ではかつて生活用水を井戸で得ており、井戸から汲み取った一杯の水で様々な用途に大切に使いまわした。井戸には個人所有のもの、共用井戸が存在し、現在多くの井戸は使われていないが、共用井戸は災害時に使われている。

友愛の水(上島上水道)  
1985年、広瀬川を主水源とし海底送水管を通じて生活用水を供給する友愛の水が整備されたことにより、弓削島の水不足は解消された。

#### point 5



#### point 4

現在の雨乞いの担い手  
雨乞いの歌と踊り(雨乞い踊り保存会への聞き取り調査より)  
道具は榎2人、鉦2人、大太鼓9人、小太鼓10人(令和2年)  
「たーもれ、たーもれ、りゅうおいなー、雨にはないかない  
ずみません、ずみせん、龍王様、天に雨はありませんか?」  
「さあまいるっさー、さあまいるっさー」  
「ど、龍王様おめでたいしゅう」  
「えーい、なんがどうふや」「どんだんどうふや」×3  
鉦の音を表現、「コロコロコロ」と3回鳴る  
「どん、かっか」×3  
鉦がからり「ら」と踊り出す  
「いやあ、おう、おう、おっさ」「おうあ、おっさー」  
雨が降ってきたことに対する喜びを表現  
雨乞い踊りの継承における担い手の思い  
「全員が、大きな声を出せた時が一番かっこいい」  
雨乞い踊りを担う小学生  
「さあまいるっさー」っていう言葉は絶対愛されるな!  
「これで若くて若く終わらしてしまえばいいよ」  
そこから伝えているのが責任感かなって思うのは僕、毎年最後は言っている」  
雨乞い踊り保存会の方



### 雨乞い踊りの継承は、弓削島の様々な文化を後世に残すことにつながる



#### 弓削島の暮らしと水

水不足に悩まされてきた人々にとって雨乞いはとても重要な儀礼であり、歌や踊りだけでなく、多くの人が代々に際まで繋いできた「思い」も後世に伝えていけるべきである。

#### 天に祈りを捧げ 雨を乞う

雨乞い踊りは「踊り場で踊る」ことに意義があり、楽器の音や踊る姿などを空間的に考えることが重要である。踊り場を「雨」の空間に広げていくことが大切である。

#### さあまいるさあまいるさ

雨乞い踊りは口頭伝承により受け継がれている。雨乞い踊りの担い手は、弓削島の水不足の歴史を伝えていくと共に、雨を司る龍神と島民の間を繋ぐ役割を担っている。

#### 井戸のある島の風景

弓削島の歴史に存在する井戸は、水不足の時代をどう乗り越えたのかを現代に伝えるものである。学校教育の場では次世代に島民の生活と水の関わりについて伝えていく。

#### 参考文献

井戸研究(1996)「弓削町誌」株式会社ぎょうせい、弓削町役場(2004)「弓削町誌(補遺)」株式会社ぎょうせい、弓削町役場(2019)「弓削町誌(補遺)」株式会社ぎょうせい、愛媛県生涯学習センター(2019)「ふらふら、雨乞い踊り」愛媛県生涯学習センター、愛媛県生涯学習センター(2020)「ふらふら、雨乞い踊り」愛媛県生涯学習センター、愛媛県生涯学習センター「かみじま群書 HP 雨乞い踊り」http://kaminjima.jp/1654、NPO法人愛媛県新聞社、公益財団法人日本新聞

## 現地調査の成果

# 【実践2】 5地域の同時進行



「えひめ瀬戸内LINKプロジェクト」  
東予5市町の高校生と文化資源を再評価・情報発信

愛媛大学井口研究室



今治北高校  
大三島分校



川之江高校



西条農業高校



新居浜南高校



弓削高校



四国中央市  
切山地区

文献調査・ディスカッション

フィールドワーク

ポスター作成WS

課題・可能性の検討  
地域環境の調査  
本質的価値の理解

経過をシェア



# 【実践1・2】地域文化の再評価

## 実践1 地域文化の再評価

各地の固有の文化資源を記録収集、島・地区・集落として再評価

## 実践2 5地域の同時進行

有形無形の多様な文化資源の検討・実践を東予5地域で同時進行

## 実践3 各地の成果の共有

地域が抱える課題や解決策の共有＝地域の枠を超えた協働の可能性

今治市大三島

大見神楽



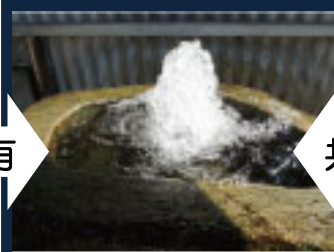
四国中央市

真鍋家住宅



西条市

うちぬき



新居浜市

別子銅山



上島町弓削島

雨乞踊り



共有

共有

共有

共有

四国山地 唐谷峠を越え山里の切山地へ



四国中央市 切山 切山地区

四国中央市 切山地区は、唐谷峠を越え山里の切山地へ。この地区は、山奥に位置し、美しい自然環境が特徴です。また、歴史ある温泉や、伝統的な文化も受け継いでいます。近年は、観光資源の整備が進み、多くの観光客が訪れています。また、地元産の農産物や、伝統工芸品も人気です。ぜひ、この美しい山里の切山地へ足を運んでください。

えひめ銀行のLINKプロジェクト  
 西条観光文化情報館 四国中央市観光協会 × 愛媛大学山科研究センター × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構

# 走れ 41社の想いを 想いをのせて



新居浜市 神子山  
 新居浜市 神子山の観光列車

新居浜市 神子山の観光列車は、美しい自然環境の中を走り抜けます。また、歴史ある温泉や、伝統的な文化も受け継いでいます。近年は、観光資源の整備が進み、多くの観光客が訪れています。また、地元産の農産物や、伝統工芸品も人気です。ぜひ、この美しい山里の切山地へ足を運んでください。

えひめ銀行のLINKプロジェクト  
 新居浜市観光協会 × 愛媛大学山科研究センター × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構

大宜山南麓 豊かな果樹 大見港の風景



今治市 大三島  
 大空山南麓・大見地区と大見港

大空山南麓 豊かな果樹 大見港の風景。美しい自然環境の中を走り抜けます。また、歴史ある温泉や、伝統的な文化も受け継いでいます。近年は、観光資源の整備が進み、多くの観光客が訪れています。また、地元産の農産物や、伝統工芸品も人気です。ぜひ、この美しい山里の切山地へ足を運んでください。

えひめ銀行のLINKプロジェクト  
 今治市観光協会 × 愛媛大学山科研究センター × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構

# 打出す清水は 結晶の娘



西条市 喜母神社の自噴水

西条市 喜母神社の自噴水は、美しい自然環境の中を走り抜けます。また、歴史ある温泉や、伝統的な文化も受け継いでいます。近年は、観光資源の整備が進み、多くの観光客が訪れています。また、地元産の農産物や、伝統工芸品も人気です。ぜひ、この美しい山里の切山地へ足を運んでください。

えひめ銀行のLINKプロジェクト  
 西条市観光協会 × 愛媛大学山科研究センター × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構 × 愛媛県立総合研究機構





# 【実践3】 各地の成果の共有 「瀬戸内文化圏」



上島町  
弓削島



四国中央市  
切山地区



新居浜市



今治市  
大三島



西条市  
旧西条

## 各地の成果の共有

各地で再評価された  
文化の価値を共有



各地の文化をめぐる  
課題や解決策を共有

「瀬戸内」という一つの文化圏の中で捉え直す

人口減少時代の文化資源の保存・継承・活用の在り方/相互扶助

# まとめ

## 事例1 内子町小田地区

旧森林鉄道の  
復元

アナログ  
アーカイブ化

次世代の  
担い手育成

## 事例2 愛媛県東予地方

5地域の文化  
資源調査

文化の再評価

5地域  
同時進行

瀬戸内  
文化の共有

- ✓ 旧森林鉄道関連、東予5地域の民俗文化を記録・収集
- ✓ その過程を多世代で共有【担い手の育成へ】



将来に向けて…  
愛媛県内で多様な記録収集・実践を蓄積し共有

# 参考文献・謝辞

小田町誌編纂委員会(1985)『小田町誌』

上浮穴郡小田町立小田深山小中学校(1962)『小田深山郷土資料集』

三上敏視 神楽と出会う本(2009) 大日本印刷株式会社

越智勇清 大三島町の祭り(1998) 山脇印刷株式会社

愛媛県教育委員会文化財保護課 「愛媛の文化財」セキ株式会社

愛媛県教育委員会 「愛媛県の民俗芸能」関洋紙店印刷所

データベース『えひめの記憶』

ゼンリン住宅地図(2014)「四国中央市1(川之江・新宮)」

愛媛県生涯学習センター「データベース「えひめの記憶」愛媛の景観(平成8年度)(2)伝説の里のたたずまい」

<https://www.imanabi.jp/system/regionals/regionals/ecode:1/6/view/1207>(閲覧日:2021.12.22)

平家の里 切山HP <https://kiryamanosato.jimdofree.com/>(閲覧日:2021.12.22)

川島宙次(1976)「滅びゆく民家」第3版、株式会社主婦と生活社

川之江市誌編さん会(1984)「川之江市誌」ぎょうせい西条市(2015)「アクアトピア」

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/gesuikommu/aqua.html>(閲覧日:2021.12.22)

角川春樹(1981)『角川日本地名大辞典38愛媛県』株式会社角川書店

三木秋男(2007)『ふるさと禎瑞～干拓二三〇年祭によせて～』岡田弘文堂

住友金属鉱山株式会社(1993)『住友別子鉱山史』大日本印刷

新居浜市HP <https://www.city.niihama.lg.jp/>(閲覧日:2021.12.22)

住友グループ広報委員会HP <https://www.sumitomo.gr.jp/history/besshidouzan/>(閲覧日:2021.12.22)

喜光地商店街HP <https://www.city.niihama.lg.jp/uploaded/attachment/10049.pdf>(閲覧日:2021.12.22)

弓削町役場(1986)『弓削町誌』ぎょうせい

弓削町(1998)『弓削民俗誌』藤原印刷

上島町「かみじま辞典HP 雨乞い踊り」<http://kamijimajiten.com/1654>(閲覧日:2021.12.22)

愛媛県生涯学習センター「データベース「えひめの記憶」愛媛の祭り(2)雨降れ降れ」

<https://www.i-manabi.jp/system/regionals/regionals/ecode:1/9/view/1614>(閲覧日:2021.12.22)

## Special Thanks

小田の里巨樹巨木を想う会・内子町役場・地域住民・内子町立小田小中学校の皆様

愛媛県東予地方局地域政策課の皆様

愛媛県立今治北高校大三島分校・愛媛県立川之江高校・愛媛県立西条農業高校・愛媛県立新居浜

南高校・愛媛県立弓削高校の皆様